



## 新人さんの歓迎は、大袈裟なぐらいが丁度いい！？



春、多くの事業所で新入社員の受入があるかと思えます。  
そこで今回は、新入社員の受入の仕方について考えてみたいと思います。



新人の受入は「**初日が肝心**」です。事業所に対して最初に持つ印象で、その後の定着率が変わってくるからです。

最初に持った印象は、その後に起こる出来事の受け止め方を大きく左右します。

あまり望ましくない出来事が生じた際、従業員が事業所について良い印象を持っている場合は、「まあ、こういうこともあるか」と受け止め、マイナスの感情が膨らむことはありません。しかし、悪い印象を持っている場合は、「やっぱりこの会社は・・・」とマイナスの感情を膨らませていきます。そういうことが1か月、2か月と積み重なっていくと、負の感情がどんどん膨れ上がり、早期退職へとつながりかねません。

このように、対象について最初に得た情報が強い記憶として残り、全体のイメージに大きく影響することを「**初頭効果**」といいます。

最初に良い印象をもってもらうためには、以下のような取り組みが有効と考えられます。



### 入社前日に電話またはメールで連絡

前日は何となく気持ちが落ち着かないもの。「明日からよろしくね。楽しみにしています！」と声をかけられれば、それだけで安心します。



### 新人さんよりも早く出社してお出迎え

新人さんは緊張しているので、初日は遅刻しないように少し早めに来ます。その時、誰もいないのと、誰かが待っていてくれるのでは、全然印象が違うでしょう。



### 「新人紹介シート」の作成

差し支えない範囲で、本人に、趣味や休日の過ごし方などを「新人紹介シート」にまとめてもらい、スタッフ用掲示板に貼る（意外とみんな見ますし、話しかけるきっかけ作りにもなります）。



### 新人さん用の備品や制服はできるだけ新品、またはキレイなものを用意する

「すぐに辞めるかもしれないから、汚いやつでいいや」←その気持ち、新人さんに伝わっています。



### 笑顔でお出迎え！

いちばん大切です。朝の忙しい時などはつつい余裕のない表情・・・

↑ただでさえ不安でいっぱい新人さんは、その表情でますます不安に・・・。

人材関連から販促メディアなど幅広い事業領域を持つ、(株)リクルート。以前その本社を訪ねたことがあります。そこで目にしたのは、「ようこそ〇〇さん、入社おめでとう！」と書かれた大きな垂れ幕。新人さん一人ひとりのデスクの上に、天井から吊るされていました。大きな会社がこんなことをやるのだなと衝撃を受けました。一見、子ども染みているような気もしますが、しかし、歓迎されて嬉しくない人などいません。

ぜひ少しオーバーなぐらいに、笑顔で明るく元気に、新人さんをお迎えしてみてくださいはいかがでしょうか。

